

平成21年10月20日

新城市長 穂積亮次 様

新城市総合計画市民委員会
会長 夏目 みゆき

新城市総合計画の進捗状況について(答申)

平成21年9月25日付、新企7・1・1で総合計画市民委員会（以下、「委員会」という。）に諮問のありました「新城市総合計画の進捗状況」につきましては、前回8月3日の委員会答申の基となった新城市総合計画（以下、「本計画」という。）平成20年度実施計画書に掲げた事務事業の評価結果及び現在進行中の平成21年度実施計画書の内容について審議するとともに、各担当課長の出席を求め、事業の進捗状況について意見交換を行うなど、審議を重ねて参りました。

基本構想に掲げたまちづくりの理念や行政経営の理念が、市政運営の指針として着実に定着し活用されるとともに、めざす将来像「市民がつなぐ 山の湊 創造都市」の実現に向けた各事業の進捗管理が各担当部局のマネジメントの基本に位置づけられることを切に願い、委員会での審議結果について、以下のとおり答申いたします。

記

1 進捗状況の答申にあたって

本計画に掲げた施策の目的や最終成果目標を達成させるために実施する各事務事業については、その有効性や進捗を測る手段として、成果指標及び成果目標値が設定されており、それは本計画の策定における「3つの視点」のうち「みんなで使う視点」によるものである。しかし、前回答申で指摘したとおり、現段階では指標の設定に多くの課題を残しており、主権者である市民に対して分かりやすく説明がされているとは言いがたい。

成果指標や最終目標値の設定及び事務事業評価が、常に最も有効で効率的な事務事業の実施へと通じる行政経営の基幹的システムであり、予算編成、財政計画との連動を達成させるプログラムであることを認識され、早期に改善されることを前提に、現時点での進捗状況を答申する。

なお、計画の進捗は、総合計画の区分（前期、中期、後期）ごとに施策・事業の見直しを行うことを踏まえ、前期基本計画の期間である平成20年度から平成22年度の3年間に掲げた成果指標の到達目標値を100%とし、各年度の達成度合いを「進捗度」とした。

- (1) 進捗状況は、①平成20年度実施計画書に掲げた事務事業の評価結果に対する委員会評価を「進捗度」、②現在進行中の平成21年度実施計画書に掲げた事務事業が予定どおり進捗した場合の到達度合いを「進捗期待度」とし、いずれも数値化し答申する。

(2) 評価に至った理由及び平成22年度の各部局運営において改善すべき事務事業の内容についても、審議結果を踏まえ答申する。

なお、進捗度は、実施計画シートや事務事業評価シートの記載内容を基本としており、市民にとって事務事業の有効性や進捗状況が分かりやすく説明されているかを最大の評価点とした。

2 進捗状況及び主な評価理由、推進すべき事務事業の内容

○まちづくり編

(1) 市民自治社会創造 進捗度10%、(進捗期待度20%)

※主な評価理由

・プラス評価

- ① 市民討議会により市民意見の反映機会が拡大されたこと。
- ② 広報紙への市民編集委員参画、市政番組での市民レポーターの登場により、市民視点の情報発信がされていること。
- ③ DOS 事業等により市民交流が進められていること。

・マイナス評価（推進すべき事務事業の内容）

- ① 地域担当制度の認知度が低く、動きが見えないこと。
 - ・区長との調整を早期に進め、地域おこし会議への市民参加を推進されたい。
- ② 地域内分権・行政区再編の動きが見えないこと。
 - ・地域自治区や行政区のあり方の調査研究を早期に進め、予定を公表されたい。
- ③ 情報基盤を活用した市政番組、広報紙への評価測定手段が限定されていること。
 - ・市民モニターの拡大・充実を進められたい。

(2) 自立創造 進捗度20%、(進捗期待度20%)

※主な評価理由

・プラス評価

- ① 林道整備における独自評価基準の試行が進められていること。
- ② 道の駅整備による交流人口・消費拡大が進められていること。
- ③ 公共バス網の充実（試行運行）が進められていること。
- ④ 学校施設の耐震化が計画的に進められていること。
- ⑤ 学校授業カリキュラム改善・子どもサポートの充実等により、子どもの健全育成に努められていること。

・マイナス評価（推進すべき事務事業の内容）

- ① 歴史文化・自然など豊富な地域資源に反して観光戦略構築の動きが遅く感じる事。
 - ・観光基本戦略への市民参加、観光協会充実を進められたい。
- ② 森林資源活用、鳥獣害被害対策に対する事業が乏しいこと。
 - ・関係機関と連携し、現状の把握や市民参加型事業の発掘を進められたい。

- ③ 農林業後継者対策、食育・地産地消推進策が乏しいこと。
 - ・後継者確保ビジョンの公表、教育部局と農業部局の連携強化を進められたい。
- ④ 中心市街地整備構想、商業振興策の具体事業が見えないこと。
 - ・市域における中心市街地の役割を整理され、市民合意を進められたい。
- ⑤ 新東名 I C 周辺整備への期待度に比べ全体構想が見えないこと。
 - ・地域振興構想や市民アイデア反映と共に市民周知を進められたい。
- ⑥ 学校再編計画（教育戦略の内容）の周知・動きが認知されていないこと。
 - ・計画該当地区に限らず全市的な議論を早期に進められたい。

(3) 安全・安心の暮らし創造 進捗度 20%、(進捗期待度 20%)

※主な評価理由

・プラス評価

- ① 夜間・休日医療の開設・再開により市民の安心が図られたこと。
- ② 母子保健・子ども医療助成制度の拡充が進められていること。
- ③ 消防・防災体制の整備、拠点設備の充実が進められていること。

・マイナス評価（推進すべき事務事業の内容）

- ① 市民病院改革事業の有効性・進捗が認知されていないこと。
 - ・市民病院の現状 P R 事業、市民参加事業の提案などを一層進められたい。
- ② 子育て支援戦略が重点事業に比して見えないこと。
 - ・地域子育て事業の充実など、部局を超えた子育て支援の体系化を進められたい。
- ③ 地震・防災計画（事業）の目標値の妥当性が分かりづらいこと。
 - ・安心を拡げる P R 活動、身近な消防団員の確保と活動の充実を進められたい。

(4) 環境首都創造 進捗度 20%、(進捗期待度 20%)

※主な評価理由

・プラス評価

- ① 環境首都コンテストで高い評価を受けていること。
- ② 自然科学博物館講座等が拡充されていること。

・マイナス評価（推進すべき事務事業の内容）

- ① 環境首都コンテストの高評価・重点戦略に見合う市民参加事業が少ないこと。
 - ・地域特徴を活かした市民参加型事業の提案・展開を進められたい。
- ② 多自然型河川改修への市民参加状況が見えないこと。
 - ・周辺ビジョンにおける多自然型河川の必要性や活用ビジョンを

明示されたい。

- ③ ゴミ資源化、減量化の成果が分かりづらいこと。
 - ・市民の誰もが参加できる事業だけに、取り組みの推移と成果との関係を周知されたい。

○行政経営編

(1) 財政ビジョン 進捗度30%、(進捗期待度20%)

※主な評価理由

・プラス評価

- ① 「ザイセイの話」の発行など、市民への説明努力がされていること。
- ② 財政健全化推進本部を立ち上げ、健全化に向けた動きが進められていること。
- ③ 枠配分予算による事業の重点化が図られていること。
- ④ 電子入札制度が導入され、入札事務の透明性・公正性の向上、事務コスト削減が進められていること。

・マイナス評価（推進すべき事務事業の内容）

- ① 枠配分部局内マネジメントへの事業評価の反映状況が分からないこと。
 - ・組織目標の公表に合わせ、事業見直しの結果を公表されたい。
- ② 財政健全化に向けた取り組みの認知度が低いこと。
 - ・目標値や成果の公表に合わせ、部局内マネジメントを推進する一般財源の確保に努められたい。

(2) 行政改革ビジョン 進捗度10%、(進捗期待度20%)

※主な評価理由

・プラス評価

- ① 行政評価制度の確立に向けた事務事業評価が試行されたこと。
- ② 補助金評価基準に基づく見直しが継続実施されていること。
- ③ 総合計画を達成させるための組織機構の見直しが継続実施されていること。

・マイナス評価（推進すべき事務事業の内容）

- ① 行政評価につながる事務事業評価システムが未構築であること。
 - ・評価体制など、試行における課題の解消に努められたい。
- ② 自治基本条例への市民参加機会、スケジュールが見えないこと。
 - ・必要性を含めた市民議論の場を提供されたい。
- ③ 市庁舎建設のスケジュール、総合支所の扱いが不明確なこと。
 - ・効率的かつ市民不安を来たさない組織機構検討と合わせて提案されたい。
- ④ 指定管理者の選定基準、成果が分からないこと。
 - ・情報公開を進めると共に市施設の有効活用に努められたい。

(3) 人材育成ビジョン 進捗度40%、(進捗期待度20%)

※主な評価理由

・プラス評価

- ① 定員適正化目標の年度別計画が達成されていること。
- ② 職員給与適正化への取り組みが進められていること。

・マイナス評価 (推進すべき事務事業の内容)

- ① 定員適正化計画に掲げた目標の達成度、研修による職員資質向上の成果が分かりづらいこと。
 - ・適切な成果指標を研究されたい。定員適正化目標の達成度、研修状況が不明。
- ② 人事評価制度、能力適性評価制度の取り組み内容、成果が分かりづらいこと。
 - ・適切な成果指標を研究されたい。

(4) 情報ビジョン 進捗度40%、(進捗期待度20%)

※主な評価理由

・プラス評価

- ① 情報基盤を活用した市政番組の充実に努めていること。
- ② 市民編集委員を交えた広報紙の充実に努めていること。

・マイナス評価 (推進すべき事務事業の内容)

- ① 行政情報公開ルールの設定に向けた進捗状況が分からないこと。
 - ・公開会議日程の事前公表や資料公開を積極的に進められたい。
- ② 情報基盤整備による行政コスト削減効果など成果が見えてないこと。
 - ・情報基盤の更なる活用と合わせて成果指標を検討されたい。

以上